

## 3-②

## 家庭学習実地指導

## 【課題】

○時間や内容を意識させ、計画的に取り組ませたい。

## 【内容】

○小学校において、学年に応じて家庭学習の取り組み方を指導する。

## 【実施方法】

○学級活動等で、学年、学級の実態に応じて、家庭学習1日分に取り組む。児童自身が「家庭学習の仕方」についてつかめるように指導する。

○家庭学習の内容、手順、ノートの使い方等について、教員が丁寧に指導し児童と確認する。その後、実際に取り組ませ、集中して学習することを体験させる。

○振り返りの時間を設け、自分の家庭学習の取組やよりよい学び方について振り返り、その日の家庭学習から意識して取り組ませる。

○年間2回実施。6月は、家庭学習の仕方を学ぶ。11月は、自主学習の仕方を学ぶなど、質の向上を図る。

○学級通信で保護者に様子を伝え、理解、協力を得ながら進める。

## 【成果・効果】

○児童は、家庭学習のよりよい取り組み方を共通理解できる。

○教員は、児童に直接指導でき、「どれくらいの時間がかかるか」「どんなところでつまずきがあるか」など、個々の実態把握ができる。

## 【ポイント】

○学年に応じた指導内容を明確化し、全校で取り組む。

○家庭の理解と協力を得るために、通信等で啓発する。

## 「家庭学習の仕方」指導の留意点

- ・家庭学習の内容はどれだけあるか
- ・家庭学習をどのような手順ですか
- ・どのくらいの質を求めるか
- ・どのくらいの時間でできるか  
(自分が集中してできる時間をつかむ)

※最低目標時間

低学年30分 中学年45分 高学年60分



家庭学習実地指導の様子



(智頭中学校区)